

令和5年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 78

千葉県立佐倉高等学校 全日制の課程 理数科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名3分
(3) 小論文	字数600字以上800字以内 検査時間：60分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定2以下の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	特に問題がある場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特別活動の記録、部活動の記録、特記事項で、特に顕著な実績がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 特記事項で特に問題がある場合は、審議の対象とする。
オ 総合所見	特に問題がある場合は、審議の対象とする。

(2) 面接〔10点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（問題がある）の2段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～b b）で得点化する。

評価b bの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機、 高校生活への意欲	志望の動機が明確である。 高校生活に対する目標・意識が明確で、学習・部活動等に意欲的に取り組もうとしている。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
イ 質問に対する応答、 身だしなみ・態度	質問の意味をきちんと理解し、明確に回答することができる。 基本的な面接作法が身に付いており、服装・頭髪等の身だしなみが整えられている。

(3) 各高等学校において別に定める検査（小論文）〔15点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（問題がある）の2段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～b b）で得点化する。評価bが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がなく、誤字や脱字がない。
イ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。
ウ 文章表現	全体としてのまとまりがあり、自分の考えがきちんと表現されている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査（小論文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点	面接の得点	各高等学校において別に定める検査の得点	総得点
評定		小論文	
135点	10点	15点	160点

(2) その他

- ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。
- イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。